

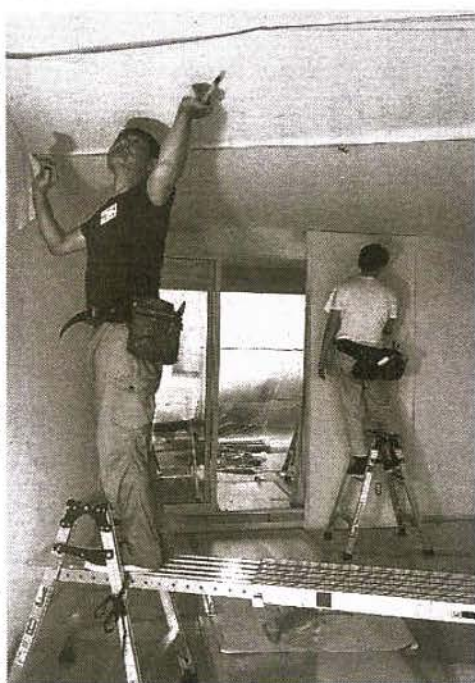
施工に接客能力も重視

3校で約200人卒業

ハウスリフォーマー育成学院

育成に取り組みリフォーム専門学校とのハウスリフォーマー育成学院(本部は長崎市)広島校も今年4月に開校した。水周りの取り付けやクロス張り替えなど、住宅リフォームで複数の工種を1人で担える多能工を育成する機関。長崎校の中田竜学長は同校の全国展開を今後進める考えで、20年春には石川県内に北陸校が開校予定だ。今後、長期的な着

工減とリフォーム市場の伸びが予想される。それらを見越して中田学長は「工務店は1社に最低1人は多能工を



長崎校での天井、壁のクロス張り研修(同学院提供)

長崎労働局によると、住宅をイメージしたトイレ、キッチン、洗面化粧

身に付けることができ。また、実際に現場に出た際の人的クレームを避けるため、接客対応力も指導する。研修期間は広島以外の3校は12日間(80時間)で、費用は広島含め50万円(税抜き)。人材開発支援促進助成金を活用できる。研修生はリフォーム会社や工務店、不動産などから営業担当も含めて幅広く、長崎、大阪、静岡の3校でこれまで約200人が卒業した。

市)、カワイ(静岡県磐田市)と業務提携して

長崎県内は大工や内装工などの不足感が強く、これらの有効求人倍率は2.49倍(3月)。多能工を持つと積算や原価管理能力を

リフォーム業界への参入を視野に入れる家具量販店などからの問い合わせもあるという。

同学院は、2016年4月に開校した長崎校のほか紅中(大阪

大阪校、静岡校を展開する。以前から多能工